

2019年1月吉日

熊本県球磨郡球磨村における  
プレゼントツリー支援者の皆様へ



球磨村森林組合  
代表理事組合長 大岩 精一

拝啓 日頃は私共の植栽放棄地対策※1に並ならぬご尽力を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、2007年5月に開催された「Present Tree Live※2」をきっかけにスタートした「**Present Tree in 南九州**（熊本県球磨郡球磨村）」は、お陰様をもちまして2017年11月にはプレゼントツリーの里親の皆様との10年間の約束期間満了を迎えることができました。その間、地震や豪雨、巨大台風等沢山の災害に見舞われましたが、どれも軽微な被害で済み、皆さんからお預かりしている森はスクスクと育っております。

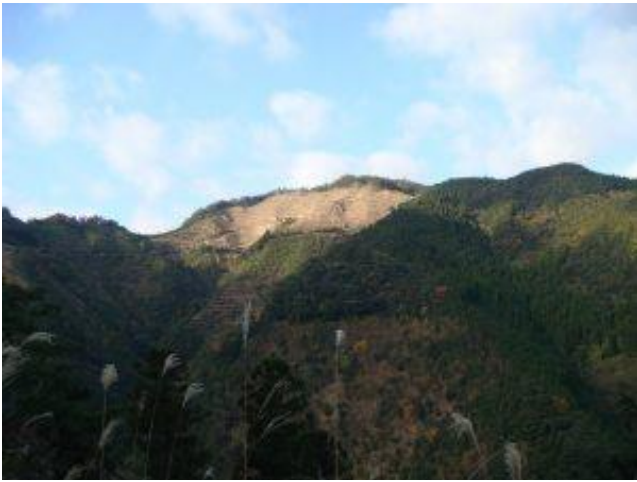
この度、直近の大型台風※3の影響調査を終え、球磨村のプレゼントツリーの森の無事を確認いたしましたので、ここにご報告を申し上げますと共に、10年の長きに亘る皆様からの温かいご支援に改めて感謝を申し上の次第です。

当初は、せっかく育ててきたスギ・ヒノキの人工林を、元のシイやカシを中心とした自然の姿へ戻してしまうことに多少なりとも不安がありました。このような天然林に近い形の森は、近年の度重なる災害にもとても強いことが分かりました。皆さんが育てて下さったプレゼントツリーの森は、その約束期間を終えた今後もこのまま天然林としての機能を発揮するよう維持継続して参りたいと思っておりますので、どうぞまた見にいらしてください。我々揃って、歓迎させていただきます。

残念ながら、皆さんの樹は相当に育ち、その管理番号が記載されているプレートを探すのも困難になってきましたので、1本毎の識別管理のシステムは終わりとさせていただきます。また、今後は間伐や自然淘汰の対象となる樹が出てくることをご了承ください。

今後も当地のプレゼントツリーの森の健全な生育、並びに小さなこの村の元気な姿を末永く見守って頂けますよう、皆様の変わらぬご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます、感謝の言葉とさせていただきます。長い間、有り難うございました！

敬具



10年前の植栽放棄地遠景



同じ場所の現在の様子



10年前の植栽放棄地近景。ササやカヤだけの裸地が広がり一部表面が崩れているのが分かる。



同じ場所の現在の様子。

### ※1、植栽放棄地とは？

木材価格の低迷から林業が生業とならず、植栽したくとも資金が捻出できないため、中小・零細民有林の人工林伐採跡地への再植栽が行われなまま放棄されている地域のこと。林業が放棄され森林が減少していくと、もともと森林が持っている「地球温暖化防止」や「生態系保全」「水源涵養」などの環境機能のみならず、土砂災害防止など安全面での機能も果たせなくなり、様々な災害の引き金となる危険性をもはらんでいます。

### ※2、[Present Tree Live](#)とは？

2007年5月に、奈良県薬師寺大講堂舞台において開催された、以下出演者による「音楽の力で森をつくろう！」をコンセプトにしたLIVE。来場者の数分の苗木が、熊本県球磨郡球磨村の植栽放棄地に植えられました。

【出演アーティスト】5/19 渡辺 美里、5/20 河村 隆一、5/26 徳永 英明、5/27 石井 竜也

### ※3、直近の大型台風とは？

平成30年台風第24号のこと。2018年9月28日～10月1日に南西諸島及び西日本・東日本の太平洋側を中心に暴風、紀伊半島などで顕著な高潮があり、インフラや交通、農林水産業などへ大きな影響をもたらしました。